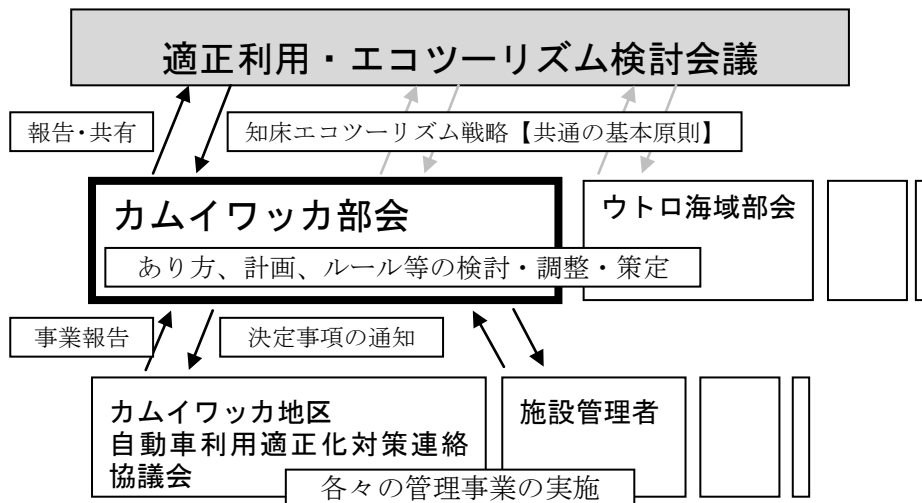


知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議 カムイワッカ部会の設置について（案）

1. 目的と位置づけ

知床エコツーリズム戦略の基本原則に従い、カムイワッカ地区の利用における諸課題を整理し、利用のあり方、管理計画、利用ルール等を検討・調整・策定するため、学識経験者、関係行政機関、地域関係団体による世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議（以下「検討会議」という。）の個別部会を設置する。

個別部会の検討結果は検討会議に報告し共有する。また、利用ルール等の決定事項はカムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会等の管理主体に通知し、適正利用を促進する。



2 部会の取扱範囲

部会における課題取扱範囲は当面、「幌別以奥の自動車利用適正化対策」、「カムイワッカ湯の沢の利用」、「カムイワッカ～硫黄山登山口の道路利用」とし、検討会議より知床エコツーリズム戦略を活用した提案に関する検討を当部会に促された場合には、それに対応することとする。

3. 部会の構成

部会の構成は以下のとおりとする。

【事務局】

環境省釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道オホーツク総合振興局（網走建設管理部、保健環境部）、斜里町（商工観光課、環境課）

【構成団体・機関】

北海道開発局網走開発建設部、北海道運輸局北見運輸支局、北海道警察（北見方面本部、斜里警察署）、一般財団法人自然公園財団知床支部、公益財団法人知床財団、知床自然保護協会、斜里山岳会、羅臼山岳会、北見地区ハイヤー協会、北見地区バス協会、斜里バス、NPO 知床斜里町観光協会、知床温泉旅館組合、知床民宿協会、ウトロ自治会、株式会社ユートピア知床

【学識経験者】

検討事項に応じて専門的な助言を得るために、学識経験者の招聘等を行い、意見を求める。

4. 部会の進行等

検討会議は事務局が招集し、議事進行を行う。また、検討会議は原則として公開とする。